第73回全日本産業別柔道大会実施要項

- 1.日 時 2025年11月23日(日・祝)午前8時20分(開場)9時45分時開会式終了後試合開始
- 2. 場 所 講 道 館 〒112-0003東京都文京区春日1-16-30 電話03-3818-4893
- 3. 主 催 全日本実業柔道連盟
- 4. 主 管 東日本実業柔道連盟
- 5.後 援 (公財)講道館(公財)全日本柔道連盟、
- 6.参加資格 (1)全日本柔道連盟に登録した者であること。
 - (2)全日本実業柔道連盟に加盟し年会費を納めた会員企業に在籍し、全日本実業柔道連盟に選手登録している者。※年会費未納の場合は参加できない。
- 7. 試合要項 (1) 出場部門は産業別に編成する。
 - (2) 部門編成は役員(監督、助監督、コーチ、主務、トレーナー)8名、登録選手は3階級で18名 以内とし、73kg以下、90kg以下、無差別級で各階級6名以内 計18名以内とする。 但し、2社以上の会社単位より登録し選手編成は1事業所当たり10名を超えることはでき ない。また参加部門の監督は全日本柔道連盟指導者資格Cライセンス以上の既得者とする。
 - (3)試合方法

試合は出場部門をAブロック・Bブロックに分けてリーグ戦を行い、各ブロックの1位による 決勝戦と2位による3位決定戦を行う。

イ. 試合時の選手編成は12人制とし、選手配列は、先鋒から軽い階級順73kg以下4名、90kg以下4名、無差別級4名とする。

その各カテゴリー内での選手選出は試合ごとに自由とする。

また、本大会において上記に登録した階級より重い階級で試合に出場することが出来る。 (73kg登録)・・・90kg・無差別級に出場可、(90kg登録)・・・無差別級に出場可。 但し、一度登録外の階級出場した場合、再び登録階級に戻ることはできない。

第1試合のオーダーは試合当日9時00分までに大会本部に提出する。

第2試合以降は、自部門の試合が終了後、または次対戦部門試合終了後、5分以内に提出すること。未提出により5分経過した後は、自動的に前回戦のオーダーのとおりとなる。

- ロ. チーム間の勝敗は次により決定する。
 - ①勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ②①で同数の場合は一本勝、不戦勝ち、棄権勝ち、相手の反則負け>技有>有効>僅差の勝の内容により上位を決める。
 - ③勝数・内容が同一の場合は、任意選出1名による代表戦を行う。代表戦で「引き分け」の場合は、ゴールデンスコア(延長戦)により勝敗を決する。ゴールデンスコアで両者 反則負けで勝敗が決しない場合は、再び任意選出にて代表戦を行う。代表戦で「引き分け」の場合は、ゴールデンスコア(延長戦)により勝敗を決する。なお、リーグ戦終了後の順位決定において内容(1. チームの勝ち数、2. チームの勝ちの内容. 3. チームの負け数、4. 直接対決での勝者)により順位を決定する。
- (4) 柔道衣について

2022年1月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。

全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。

柔連柔道衣規格合格品のリストは全日本柔道連盟のホームページを参照のこと。

柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。 (主催者は予備の柔道衣を 準備しない)

(5)ゼッケンについて

布地は白色とし、苗字を上部2/3、チーム名を下部1/3に男子は黒文字で記載する。サイズについては縦25cm ~ 30 cm、横30cm ~ 35 cmとすること。縫い付け位置は後襟から5cm ~ 10 cm下部に縫い付けること。

- 8. 計量 大会当日午前8時30分から午前9時00分までの間、「73kg以下」及び「90kg以下」の 計量を実施する(+2kgまで認める)なお、無差別級の計量は行わない。
 - ※ 計量は、部門ごとに計量者全員がまとまって行う。
 - ※ 計量場所:講道館新館2階教室
- 9. 審判規定 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。 (2025~2028)
 - (2)試合時間4分間。
 - (3)優勢勝ちの判定基準は「有効」又は「僅差」以上とする。
 - ※「指導」差が2対0になった場合「指導」0の選手を「僅差」勝ち、「指導」差が1は引分け。
 - (4)「技の内容」と「指導」の重み。※【一本勝=反則勝>技あり>有効>僅差】の順とする。
 - (5)代表戦については、個人戦同様で「僅差」決着なし。
- 10. 申込方法 (1) 申込期日 10月17日(金) 厳守とする。
 - (2)申込書 別紙申込書を使用し、生年月日と全柔連登録番号は明確に記入すること。
 - (3)申込先 〒107-8511東京都港区元赤坂1-6-6 綜合警備保障(株)内 東日本実業柔道連盟 TEL:03-3402-7528 FAX:03-3402-7538 E-mail:higashijudo-j@alsok.co.jp
 - (4)選手変更 11月14日(金)~18日(火)17時00分まで東実柔連事務局宛メールにて受け付ける。 大会申し込み後にメールにて案内をする。※大会前日の選手変更は無し。

※但し選手変更については、参加申込時メンバーより各階級登録外選手2名以内とする。

- 11. 抽選会 **10月24日(金) 午後4時より、ALSOK本社内会議室**にて大会役員立会いの上、組合せ抽選会を厳 正に行う。
- 12. 表 彰 優勝(賞状・優勝旗・優勝杯・賞品)、準優勝(賞状・賞品)、3位(賞状・賞品)を表彰する。優秀選手賞は7名(優勝部門3名・準優勝部門2名・3位部門2名)を表彰する。
- 13. 参加料 参加料は1部門当たり150,000円とする。

振込先 全日本産業別柔道大会事務局 三井住友銀行 本店営業部 普通9028311

- 14. 代表者会議 集合形式の会議は開催せず、事前に参加部門へ案内をする。
- 15. 審判員 (1)全日本実業柔道連盟により委嘱する。
 - (2) 試合当日9時15分より講道館7階大道場・第3試合場にて、審判会議を開催する。
- 16. 開閉会式 (1) 9時45分より開会式を行うので、出場選手は柔道着を着用の上参加すること。
 - (2)表彰式・閉会式について、入賞チームは柔道着を着用の上参加すること。
- 17. 傷害保険 本大会において当連盟は傷害保険(死亡、後遺障害、入院に適用)に加入する。但し、試合中の 傷害に対する補償のみとする。その他の保険は各社又は各人は自己責任にて必ず傷害保険に加入すること。
- 18. 出場部門 出場部門は以下の8部門を予定する。

繊維部門、医療・警備部門、官公庁部門、建設・電機・機械部門、鉄鋼部門、運輸部門、JR 部門、食品・印刷・サービス部門。

- 19. 特記事項 (1)皮膚真菌症 (トンスランス感染症) について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認 すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確 な治療を行なうこと。大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場 ができない場合もある。
 - (2) 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。
 - ・大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ・大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。 (受傷した時点で必ず専門医を受診すること)
 - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出す ること。
 - (3) 大会で撮影された写真および映像の肖像権は、主催者側に帰属する。
 - (4)プログラムに掲載する大会申込情報は、ホームページに掲載する。